

●農林水産業振興について

団員 寺井 克之

今回の海外都市行政視察は、令和6年1月21日から27日までの7日間、姉妹都市であるサクラメント市とサンフランシスコ市、隣国のカナダのバンクーバー市、リッチモンド市を視察した。

私が担当するテーマは、「農林水産業振興について」カナダのリッチモンド市内にあるアジア系、白人系、日系の3種類のスーパーマーケットを比較見学して、日本産品等の販売状況を視察した。

リッチモンド市は、カナダのブリティッシュコロンビア州バンクーバー市の南に位置する都市で、メトロバンクーバーと呼ばれる都市圏に属している。

人口は、約21万人で面積は129.6平方メートル。

移民が多く中国人の割合は50パーセント以上であり、そのため、外国人にとって住みやすいといわれている。

1月25日、宿泊先のバンクーバー市からTransLink社のカナダラインに乗って約30分。リッチモンド市にあるLansdown駅で降りて少し歩くと、ランズドーンセンターというショッピングモールがあり、その中に1つ目の視察先であるアジア系のスーパーマーケット「大統華T&T」がある。

ランズドーンセンターは中国系のお店が多く入っており、客層も中国系の方が



(アジア系:大統華T&T)

ほとんどであった。

店内に入ってみると、日本のカップラーメンや飲料水、調味料が多く並んでいて、日本のショッピングセンターと変わらないと感じた。

柑橘類をみると、中国産のオレンジが「愛媛果凍橙



(愛媛果凍橙と箱に書かれて売られている中国産みかん)

(ゼリーみかん)」と書かれた箱に入って実際に売られていたり、「紅美人(紅まどんな)」や「春見」も中国産として売られていた。

試しに紅美人と春見を購入して実際に食べてみたが、紅まどんなのようにゼリー感はなく、特別おいしいというものでもなかった。

現地のガイドさんに聞くと、実際に愛媛産の紅まどんなが売られることもあるとのことだったが、今回は売られていなかった。

このようにカナダで中国産のみかんが「愛媛」という文字をつけて売られていることは、「愛媛」には「おいしい、高級」といったブランド価値があるのではないかと感じた。



(中国産の紅美人)

次の視察先は、ランズドーンセンターから歩いて10分ほどの場所にある白人系のスーパーマーケット「リアルカナディアン・スーパーストア」である。

こちらは、アメリカ産や中国産、南米産などが多く、柑橘類も日本のもの

はなかったが、お米や菓子類は日本のものが多く売られていた。

最後の3つ目の日系のスーパーマーケットは「IZUMIYA」で、ここは日本人向けの店で前の2店舗と比べると店舗もこじんまりしていて、ほとんどの商品が日本のものだった。



(白人系:リアルカナディアン・スーパーストア)

視察前の勉強会で、カナダでの県産品の市場進出について、えひめ愛フード機

構の取組を学んだ。令和元年度には「和食まつり」や「レストランフェア」でのPR、4年度にはカナダ最大の食品見本市である「カナダRCショー」において主に、柑橘類や柑橘の加工品をプロモーションしたとのことであった。

今回、カナダでの3種類のスーパーマーケットを比較見学したが日本の産品も多く売られていることから、本市には「まつやま農林水産物ブランド」という高品質で安全・安心であることに加え、生産者の商品に対する「思い」が強く込められた松山産の農林水産物があるので、海外(カナダ)でのPRを進め、販路拡大につなげることもチャレンジしてみてもどうかと感じた。